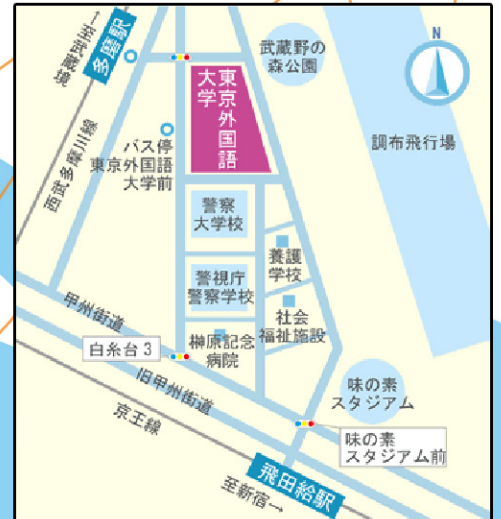


手話言語の類型論

国内外の手話言語に見られる多様性を、ろう当事者が行ったフィールドワークの成果も含めて考察します。

◎日時 2016年2月21(日) 16:10~18:55
(第一部16:20~・第二部17:25~)

◎会場 東京外国語大学
アゴラグローバル3階プロジェクトスペース
事前予約不要・入場無料
日本手話の通訳あり



◎プログラム

箕浦 信勝 「マダガスカル手話の一致動詞について」
相良 啓子 「世界の手話における数のしくみ, 日本手話系言語における 数表現の変化」
矢野 羽衣子 「日本のピレッジサインの数字, タイムライン, 空間の表現: 愛媛県大島手話の予備的研究」

主催: 科学研究費

若手研究(B) 「数の仕組みとその文法・情報構造との連関の通言語的研究」
(研究代表者: 野元裕樹)

基盤研究(B) 「手話言語の文法における「非手指的要素」の意味的・統語的性質の研究」
(研究代表者: 松岡和美、研究分担者: 内堀朝子)

共催: 東京外国語大学語学研究所

◎お問い合わせ先 東京外国語大学 野元裕樹 (nomoto@tufs.ac.jp)

科研費
KAKENHI